

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	1年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	東洋医学概論 I			担当教員	木村 博吉		
授業の方法	講 義			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	東洋の自然哲学、東洋医学における人体の構造と機能の考え方、病理観などの基本的知識を学ぶ。						
授業の到達目標	II. 医学的知識 4. 東洋医学の自然哲学・健康観・病理観について理解する。 ※病理観については病の原因についてのみ学習する。						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 東洋医学の特徴 第1節 東洋医学の沿革 I. 東洋医学の歴史		1	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		
	2	第1章 東洋医学の特徴 第2節 人体の見方 I. 人と自然の統一性 II. 有機的な統一としての人体		2	第2章 生理と病理 第2節 蔵象 IV. 六腑の協調関係		
	3	第3章 東洋医学の思想 第2節 五行学説 I. 五行学説の基本内容 II. 東洋医学における五行学説の運用		3	第2章 生理と病理 第1節 生理物質と神 I. 生理物質(精・気・血・津液)		
	4	第3章 東洋医学の思想 第2節 五行学説 I. 五行学説の基本内容 II. 東洋医学における五行学説の運用		4	第2章 生理と病理 第1節 生理物質と神 I. 生理物質(精・気・血・津液)		
	5	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 I. 蔵象学説		5	第2章 生理と病理 第1節 生理物質と神 I. 生理物質(精・気・血・津液)		
	6	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域		6	第2章 生理と病理 第1節 生理物質と神 I. 生理物質(精・気・血・津液)		
	7	第2章 生理と病理 第2節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域		7	第3章 東洋医学の思想 第1節 五行学説 I. 五行学説の基本内容 II. 東洋医学における五行学説の運用		
	8	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域		8	第3章 東洋医学の思想 第2節 五行学説 I. 五行学説の基本内容 II. 東洋医学における五行学説の運用		
	9	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		9	第3章 東洋医学の思想 第1節 陰陽学説 I. 陰陽学説の基本内容 II. 東洋医学における陰陽学説の運用		
	10	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		10	第3章 東洋医学の思想 第4節 病因病機 I. 病因		
	11	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		11	第3章 東洋医学の思想 第4節 病因病機 I. 病因		
	12	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		12	第3章 東洋医学の思想 第4節 病因病機 I. 病因		
	13	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		13	第3章 東洋医学の思想 第4節 病因病機 I. 病因		
	14	第2章 生理と病理 第1節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		14	第3章 東洋医学の思想 第4節 病因病機 II. 病機		
15	第2章 生理と病理 第2節 蔵象 II. 五臓とその機能に関する領域 III. 五臓の相互関係		15	第3章 東洋医学の思想 第5節 病因病機 II. 病機			
評価基準	評価: 90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	小テスト10%、中間試験40%、期末試験50% ※小テストは合格点(60点以上)を採るまで何度でも再試験を行います。			実務経歴	臨床・研究経験: 約6年(本校専任教員と兼任) 埼玉医科大学東洋医学科の研修生を経て非常勤職員(平成14年~平成20年) 所属: 全日本鍼灸学会、日本東洋医学会、現代医療鍼灸研究会		
履修上の注意	『新版 東洋医学概論』の教科書は内容充実しており、初学者には難解な部分があります。原則として、授業内で配布する資料及び小テストを時系列にファイルしてください。			授業時間外の学習	小テストの内容は授業のまとめとなっておりますので、反復して忘れないようにしましょう。		
使用教材	教科書: 東洋療法学校協会「新版 東洋医学概論 第1版」 参考図書: 東洋学術出版「針灸学 基礎編」			連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して、訪ねてください。		